

生活改善など 6 課題指摘

子どもの体力・運動能力低下が指摘されているのを受けて、自民党文部科学部会の「子どもの体力向上ワーキング・チーム」座長、橋本聖子参院議員は、体力向上へ取り組むべき課題として「生活習慣の改善など家庭への呼び掛け」など六項目を指摘する報告書を取りまとめた。同チーム事務局長の松野博一衆院議員（千葉3区）は、「来年の通常国会への議員立法提案に向けて検討を進める」としている。

松野氏が報告書

子どもの体力・運動能力低下が指摘されているのを受けて、自民党文部科学部会の「子どもの体力向上ワーキング・チーム」座長、橋本聖子参院議員は、体力向上へ取り組むべき課題として「生活習慣の改善など家庭への呼び掛け」など六項目を指摘する報告書を取りまとめた。同チーム事務局長の松野博一衆院議員（千葉3区）は、「来年の通常国会への議員立法提案に向けて検討を進める」としている。

ら意見聴取した上で取りまとめた。国として当面取り組む課題に、①政治の分野から国民にメッセージを発する必要性②教員の指導力向上・指導体制の充実③子どもが体を動かす場の工夫や、スポーツに触れ合う機会の充実など六項目を指摘した。さらに、学校など運動場での芝生化の推進にも言及した。

報告書は、体力学の研究者や教諭・校長、大学でトップレベルの選手育成に取り組む学長などから意見聴取した上で取りまとめた。国として当面取り組む課題に、①政治の分野から国民にメッセージを発する必要性②教員の指導力向上・指導体制の充実③子どもが体を動かす場の工夫や、スポーツに触れ合う機会の充実など六項目を指摘した。さらに、学校など運動場での芝生化の推進にも言及した。

橋本座長は、企業が地域のスポーツ団体に資金支援した場合の税制優遇措置や小学校への「体育指導員」の配置なども提案。松野事務局長は、「子どもの体力と学力は比例する。小中学校での授業時間が減る中でも、体育の時間確保は重要。体力向上で、“容量”を増やすことが可能になる」と体力向上の必要性を訴えている。

同チームは、昨年六月に立ち上げられ、今月報告書を作成。今後検討内容を受け継ぐ「子どもの体力向上の実現を目指す議員連盟」（会長、河村健夫・元文科相）に検討結果を報告した。議連では、議員立法などへの検討が行われる予定。